



古民家リノベーションオフィスICT KŌBŌ HAKODATE

2024年1月25日

TOPPANデジタル株式会社

ICT開発センター サテライトオフィス戦略部

函館サテライトオフィス

堀田 瑞穂

TOPPAN





自己紹介

自己紹介



堀田 瑞穂

Mizuho Horita

TOPPANデジタル株式会社
ICT開発センター
サテライトオフィス戦略部
函館サテライトオフィス

- 1997 ○ 函館市にて誕生
- 1999 ○ 父の転勤により、青森県むつ市へ
高校卒業までむつ市で過ごす。長期休暇の際には頻繁に函館へ
- 2016 ○ 公立はこだて未来大学に入学
慣れ親しんだ土地である函館で情報系の学びができる未来大へ進学
- 2020 ○ TOPPANに新卒入社後、10月に長野サテライトオフィスに配属
自分自身が地方出身ということもあり、サテライトオフィスのコンセプトに共感
- 2021 ○ 新規サービスの立ち上げを経験
まちの情報集約・発信サービスPosRe®の企画・開発・プロジェクト推進を経験
- 2022 ○ 教育機関と連携し、飯綱町ICT教育プロジェクトを推進
飯綱町の小学校における、プログラミング教育を支援するプロジェクトを指揮
- 2023 ○ ICT KŌBŌ HAKODATEが開設、赴任
5月8日に地元である北海道函館市へオフィスが開設、立ち上げに奮闘中



企業紹介

2023年10月設立
TOPPANホールディングス株式会社

2023年10月設立
TOPPAN株式会社

旧凸版印刷主要部門

印刷テクノロジーをベースに
お客様や社会課題を解決

2023年4月設立
TOPPANエッジ株式会社

旧凸版印刷セキュア事業部
+
旧トッパン・フォームズ

高いセキュリティと
運用ノウハウを伝達し、課題解決へ

2023年10月設立
TOPPANデジタル株式会社

旧凸版印刷
DXデザイン事業部

デジタルソリューションで
お客様のビジネス変革をサポート



Expanding the Digital Potential

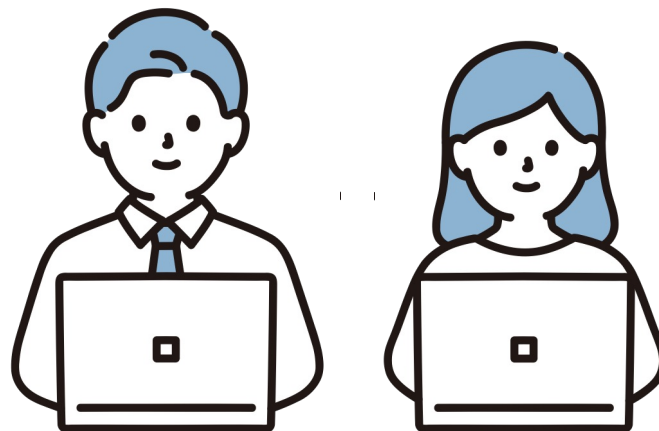
未来に挑む。世界を変える。

TOPPANデジタルは、現場の視点に立ったソリューションで
社会に貢献し、デジタルの力で新たな未来を築きます。



デジタル推進へ向けた課題

- ✓ システム開発
- ✓ マーケティング
- ✓ マネジメント
- ✓ セキュリティ



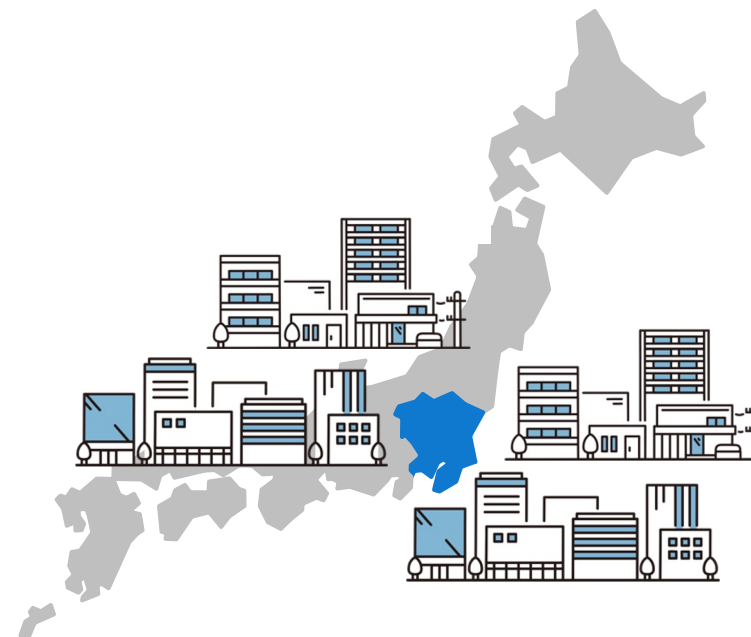
- ✓ データ分析
- ✓ ビッグデータ
- ✓ クラウド
- ✓ ICT / IoT

サービス開発・展開において

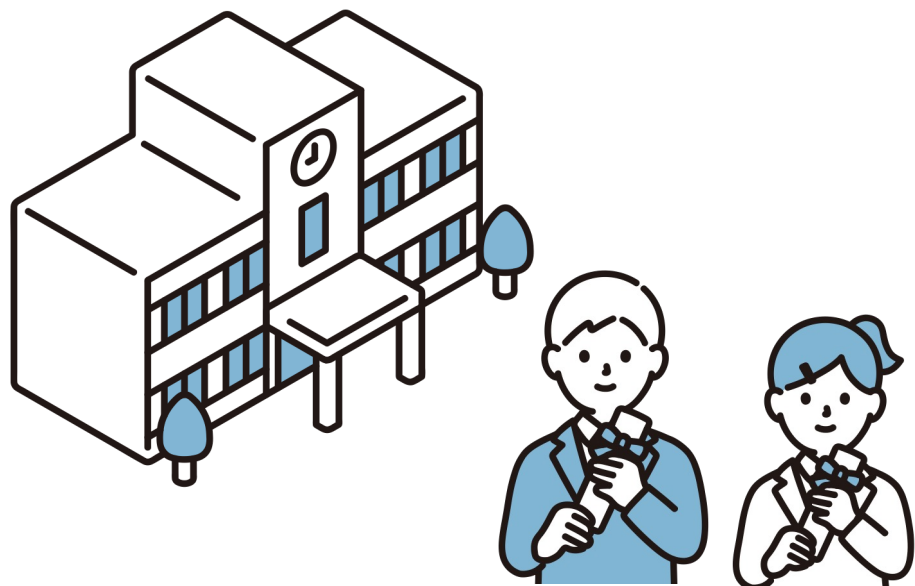
デジタル人財 が必要不可欠



デジタル分野に注力していることが
まだまだ知られていない



在京はIT企業競争が強く、開発機能を持つ
本社拠点にデジタル人財が集まらない



✓ 地方における地元教育機関の卒業生

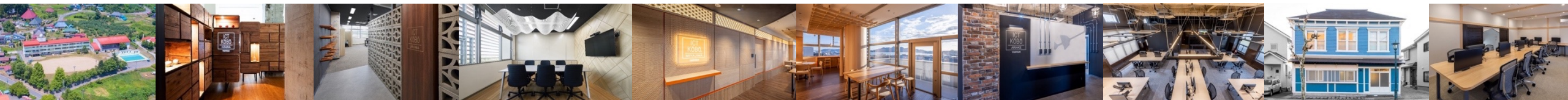
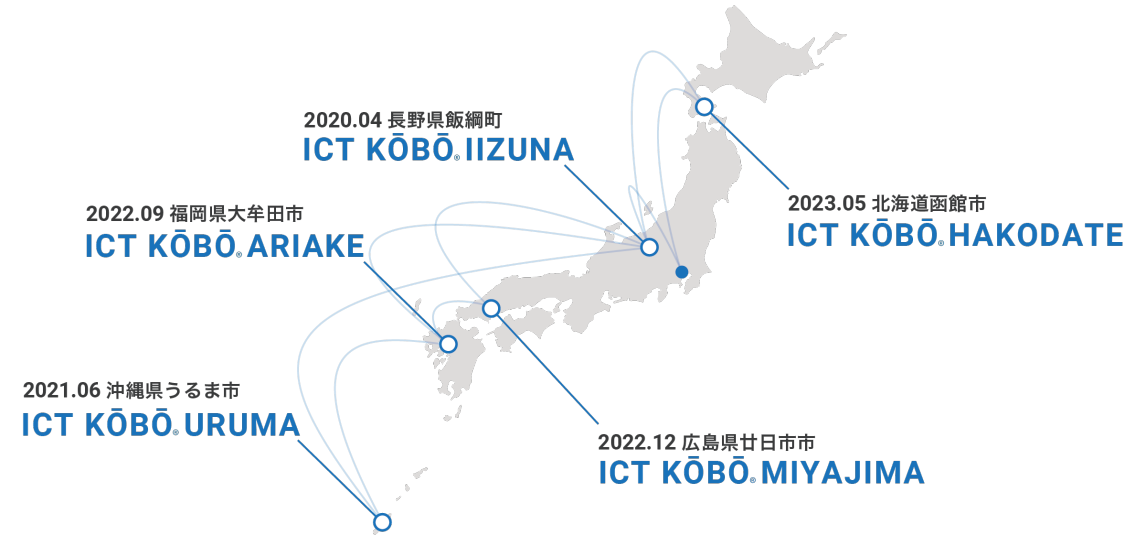


✓ 地方で働きたいU・I・Jターン人財

デジタル人財の確保に向けた
サテライトオフィスプロジェクトをスタート

サテライトオフィスプロジェクト「ICT KÖBÖ®」

- 2020 4月 長野県飯綱町に「ICT KÖBÖ® IIZUNA」開設
- 2021 6月 沖縄県うるま市に「ICT KÖBÖ® URUMA」開設
- 2022 9月 福岡県大牟田市に「ICT KÖBÖ® ARIAKE」開設
12月 広島県廿日市市に「ICT KÖBÖ® MIYAJIMA」開設
- 2023 5月 北海道函館市に「ICT KÖBÖ® HAKODATE」開設



DXを推進する新たな開発拠点



システム開発体制とデジタル人財の強化

地方環境を活用した地域の人々や企業との交流による新事業創出

現地雇用拡大などの地域活性化を目指す

サテライトオフィスプロジェクト「ICT KŌBŌ®」

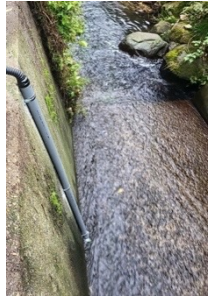
新規ソリューション開発

地域の方々と連携し、地域課題の掘り起こしからその地域ならではのソリューションを開発し、全国へ展開



行政との連携

現地にオフィスを構えているという特性を活かし、行政と密な連携を実施することで地域へのTOPPANならではの価値を提供



技術研究開発

新規ソリューション開発・新規技術獲得に向けた研究開発の取り組み



雇用創出 / 人材採用

デジタル人材の獲得・育成へ向けて、中途採用・新卒採用強化へ向けた取り組みを推進



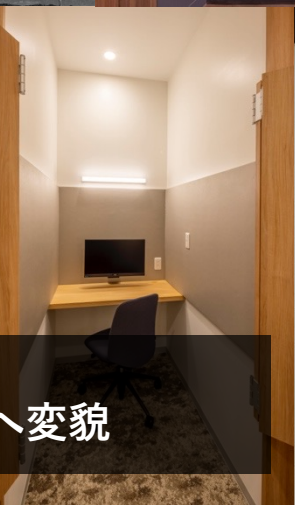
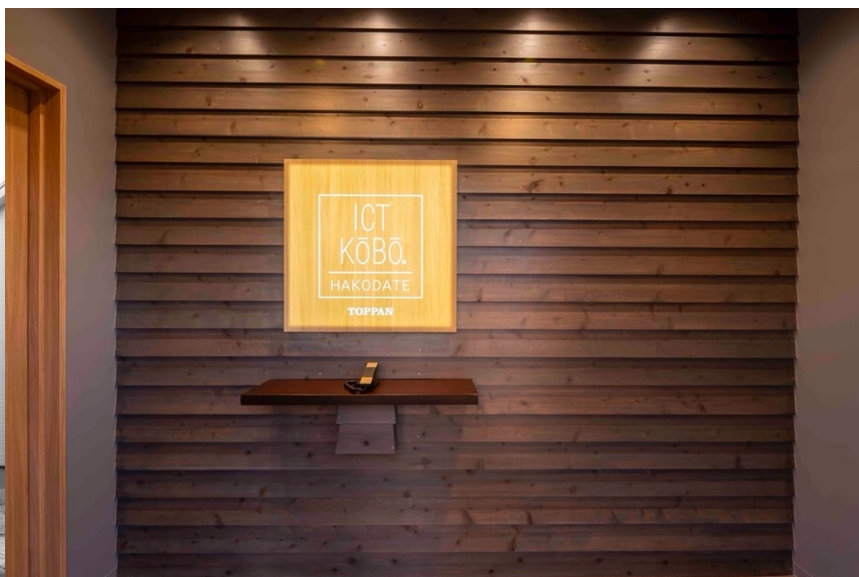
ニアショア開発

主に在京のお客様向けのシステム開発を、TOPPAN 東京部隊と連携し開発





ICT KŌBŌ HAKODATE



2023.05
歴史や風情を残しながら、オフィスへ変貌



旧海産物商の和洋折衷建造物 築110年の旧加藤家住宅をリノベーション

所在地：北海道函館市大町8番21号

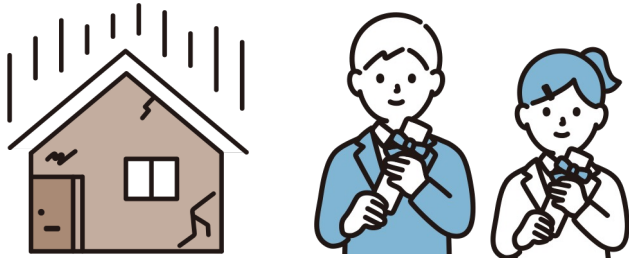
建築年：1913年（大正2年）

構造：和洋折衷、木造/地上2階建て



物件を選定した理由

函館市



- ✓ 空き家問題を解決したい
- ✓ 若者の人口流出を止めたい



ニーズがマッチング

TOPPAN



- ✓ 特徴あるオフィスを作りたい
- ✓ 函館の課題解決に貢献したい



01

特徴的な外観はそのままに

和洋折衷様式の外観をそのまま残し、従来のカラーリングを再現

02

歴史を感じる「素材」を再活用

住宅内で元々利用されていた様々な素材を活用し、歴史が感じられる空間に

03

エンジニアが働きやすい環境づくり

「快適に働ける」ことにこだわり抜いたオフィス設計



01

特徴的な外観はそのままに

和洋折衷様式の外観をそのまま残し、従来のカラーリングを再現

02

歴史を感じる「素材」を再活用

住宅内で元々利用されていた様々な素材を活用し、歴史が感じられる空間に

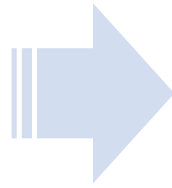
03

エンジニアが働きやすい環境づくり

「快適に働ける」ことにこだわり抜いたオフィス設計

① 特徴的な外観

Before



After





01

特徴的な外観はそのままに

和洋折衷様式の外観をそのまま残し、従来のカラーリングを再現

02

歴史を感じる「素材」を再活用

住宅内で元々利用されていた様々な素材を活用し、歴史が感じられる空間に

03

エンジニアが働きやすい環境づくり

「快適に働ける」ことにこだわり抜いたオフィス設計

② 歴史を感じる「素材」を再活用

Before



② 歴史を感じる「素材」を再利用

After

住宅で使われていた戸棚の金具を、引き戸の取っ手として再利用



② 歴史を感じる「素材」を再活用

After

住宅の様々な場所にあった4種類の昭和型板ガラスを集め、会議室の窓へとあしらった



ダイヤ模様



霞模様



かすり模様



もみじ模様

② 歴史を感じる「素材」を再利用

After

住宅で使われていた引き戸を塗装し直し、取っ手を付け替えることで再利用





01

特徴的な外観はそのままに

和洋折衷様式の外観をそのまま残し、従来のカラーリングを再現

02

歴史を感じる「素材」を再活用

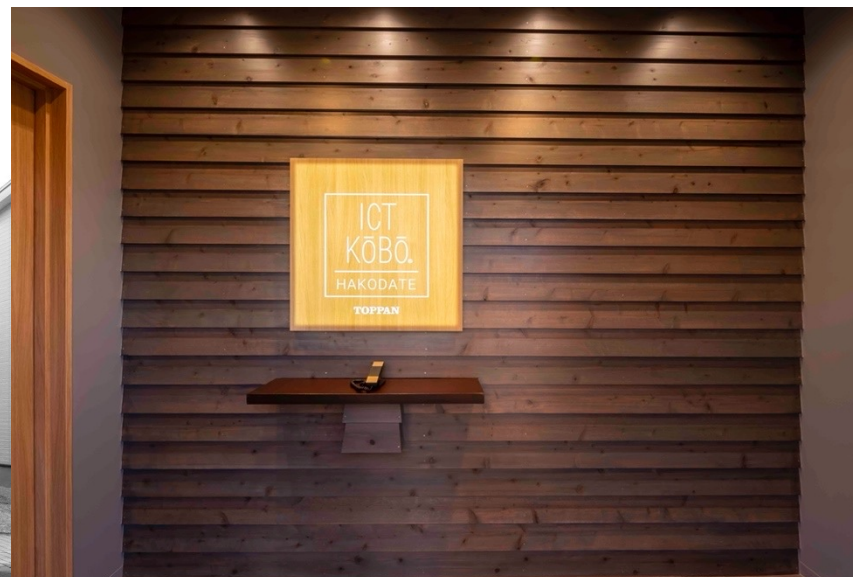
住宅内で元々利用されていた様々な素材を活用し、歴史が感じられる空間に

03

エンジニアが働きやすい環境づくり

「快適に働ける」ことにこだわり抜いたオフィス設計

③ エンジニアが働きやすい環境づくり



③ エンジニアが働きやすい環境づくり

各種備品は「働きやすさ」を重視し、選定

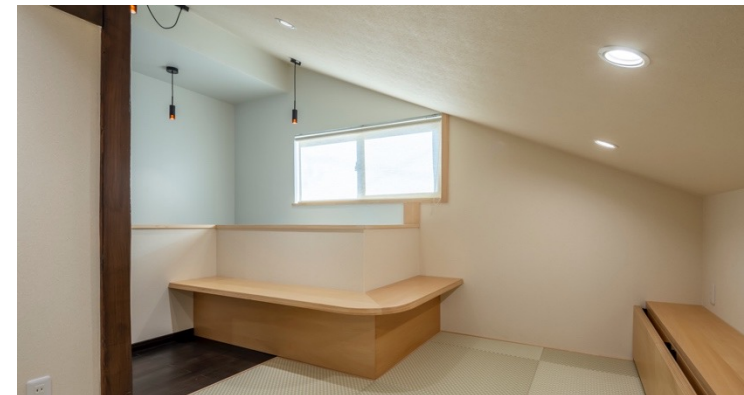
ゆとりのあるデスクスペースや、可動式ディスプレイ完備等細かなところに「働きやすい」ための工夫を。デスクワーク中心のため、体への負荷を軽減するために、椅子の選定へもこだわり。



③ エンジニアが働きやすい環境づくり

集中できる作業スペースとリラックススペース

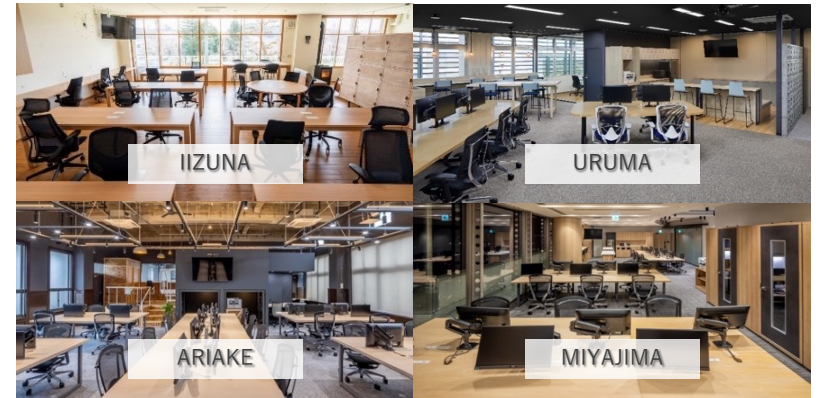
オンライン会議や作業に集中できるソロブースが完備。
業務から解放され一息をつくことができるリラックススペースが充実。
中二階の畳スペースからは函館山が一望できる。



③ エンジニアが働きやすい環境づくり

大型スクリーンで全国のICT KŌBŌと接続

2F執務スペースにある大型スクリーンでは、他のICT KŌBŌと常時接続。
WEBカメラを通して、各拠点の様子をリアルタイム投影。
物理的な距離がありながらも、ICT KŌBŌ間のコミュニケーションを促進。



さいごに



**地域の歴史・文化を大切にし、
DXを推進する拠点へ成長していく**



可能性を高めるTOPPANのデジタル変革

Erhoeht-X

TOPPAN

